

2021年8月3日

2022年3月期 第1四半期連結業績の概要

<2022年3月期 第1四半期業績:連結売上収益>

全世界販売台数は、世界的な半導体の供給不足による生産制約はあるものの、重点市場である米国を中心に自動車全体需要は回復基調にあり、前年同期比 31.7%増の 175 千台となりました。

海外販売台数は前年同期比 32.1%増の 151 千台、国内販売台数は同 29.5%増の 24 千台となりました。

連結売上収益は、販売台数の増加により、同 39.0%増の 6,352 億円となりました。

なお、全世界生産台数は同 99.4%増の 184 千台となりました。

海外生産は同 83.5%増の 67 千台、国内生産は同 109.6%増の 117 千台となりました。

<2022年3月期 第1四半期業績:連結損益>

連結損益についても、販売台数の増加を主因とし、営業利益は前年同期比 452 億円増加となる 295 億円、税引前利益は同 450 億円増加となる 343 億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同 262 億円増加となる 185 億円となりました。

<2022年3月期 通期連結業績見通し>

半導体供給不足による生産制約を考慮し、全世界販売台数は前回(2021年5月11日)発表値に対して 40 千台減の 960 千台(前年同期比 11.6%増)に修正するものの、連結売上収益、各段階利益(営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益)は、想定為替レートの見直しや販売奨励金の抑制などによる改善を見込み、前回発表値を据え置きます。

なお、通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥109/US\$、¥130/EURO です。

※前回(2021年5月11日)公表の通期連結業績見通し

連結売上収益 3兆 3,000 億円(前年同期比 16.6%増)

営業利益 2,000 億円(同 95.2%増)、税引前利益 2,030 億円(同 78.1%増)

親会社の所有者に帰属する当期利益 1,400 億円(同 83.0%増)

想定為替レート ¥108/US\$、¥128/EURO

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。